黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成28年5月発行
第135号

発行所
公益社団法人　和歌山県看護協会
〒642-0017
海南市南赤坂17
TEL:073-483-1005
FAX:073-483-1266
http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp
発行人
古川　紀子

平成 27 年度　救急看護認定看護師教育課程修了式

CONTENTS

- 通常総会開催に向けて ………… 2
- 救急看護認定看護師教育課程を修了して … 2
- 平成 28 年度 通常総会プログラム
  - 理事会報告 ………………… 3
  - 平成 28 年度重点事業及び事業計画 … 5
  - 平成 28 年度収支予算 ………… 6
  - 正味財産計算予算書内訳表 …… 7
  - 職能委員会報告 …………… 8

常任委員会報告 ……………… 10
特別委員会報告 ……………… 13
その他委員会報告 …………… 14
地区支部報告 ……………… 15
平成 28 年度和歌山県看護協会役員・推薦委員選挙候補者一覧 …… 19
平成 29 年度 代議員推薦名簿 …… 20
平成 29 年度 予備代議員推薦名簿 …… 20

和歌山県看護協会会員数

平成 28 年 4 月 27 日現在

会員総数	5,133 名
名誉会員	1 名
保健師	122 名
助産師	186 名
看護師	4,637 名
准看護師	187 名

平成 28 年度和歌山県看護協会通常総会開催に向けて

公益社団法人　和歌山県看護協会　会長　**古川　紀子**

新年度となり、各職場では新人を迎えられ、ご多忙な中にも活気ある日々をお過ごしのことと存じます。

平素より看護協会事業に対しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

和歌山県看護協会は公益社団法人として５年を迎え、「県民の健康な生活の実現」に向けて更に事業の充実が求められています。

看護研修センターが海南市に移転し、１年２か月が経過しました。

快適な環境の中での研修、交流、災害支援、地域交流等の事業を実施し、公益社団法人として期待される役割を果たして参ります。

2025 年を見据え、医療･介護の改革が進められています。看護職が連携し、施設から在宅まで切れ目のない継続したサービスが提供できるよう努めてまいります。

平成 28 年度も、「看護の質向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を使命として、６つの重点事業を中心に時代のニーズに基づいた事業計画を策定いたしました。

「看護実践能力及び専門性の強化」については、例年の事業に加えて、セカンドレベル研修を再開いたします。

また、ファーストレベル研修、高機能シミュレーション研修、新人実地指導者研修、保健師助産師看護師実習指導者講習会、専任教員継続研修等の実施により、看護職が十分に看護力を発揮できるように努めます。退院支援看護師研修、虐待防止研修等を新たに計画し、看護の質向上に努めて参ります。

「看護職が働き続けられる環境づくり」については、看護職の WLB ワークショップ事業を今年も継続的に取り組み、労働環境改善に繋げて参ります。

昨年 10 月から実施している、医療機関等を離職する看護職のナースセンターへの届け出制度の更なる推進を図って参ります。また､潜在看護職員復職支援研修､ハローワークと連携した仕事相談等、ナースセンターを看護職確保・定着の総合拠点として、行政や労働局、ハローワークと連携しながら機能強化を図って参ります。

さらに、認定看護管理者会の活動として、「看護管理者」による出前研修講座を８コース実施いたします。各職能の実践能力向上と体制整備に向けては、保健師活動指針の普及、「アドバンス助産師」の認証申請に向けた情報提供や、研修を実施し、助産実践能力強化に努めて参ります。夜勤交代制勤務ガイドラインの普及等、各職能が力を発揮できる活動を進めます。

加えて広報活動強化の観点から、ホームページの更なる充実を図り、看護職や県民の方々への情報をタイムリーに発信して参りたいと考えております。

平成 28 年度も役員、各地区支部、各委員会をはじめ、各関係機関、行政、会員の皆様と共に、安全で良質な看護の提供と、看護職がいきいきと働き続けられる職場づくりを目指して、積極的に活動して参りますので、引き続き協会運営にご支援･ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

「救急看護認定看護師教育課程を修了して」

海南医療センター　**林　真紀**

救急看護認定看護師教育課程に志願し、念願叶って残暑厳しい昨年９月に仲間とともに入学し、不安いっぱいで始まった教育課程でした。７か月間は長いと思っていましたが、瞬く間に時間が過ぎ、3 月に研修生全員で無事修了式を迎えられました。自分一人の力では、乗り越えられなかっただろうと思う局面も多々ありました。苦しい時には互いに支え励ましあい、切磋琢磨できる一生ものの仲間がいてくれたこと、職場の皆様の協力、暖かく見守り支えてくださった先輩の認定看護師の方々、そして家族の支えがあり、ここまでこられたと深謝しています。実習指導者や専任教員から、たくさんの指導をいただきました。これまでの学びを活かせるかどうかも自分次第であると学びました。日常業務に流されてしまわないよう、時にたちどまり、じっくりと「考える」ことを意識し、考えを言語化して伝えていくことが今後の課題だと考えています。

社会医療法人　黎明会　**上葛　順子**

今回、平成 27 年９月から７か月間、救急看護認定看護師教育課程を受講しました。研修期間中は救急看護実践に必要な専門的な知識と技術について座学や学内演習、臨地実習を通してより深く学ぶ機会となりました。実務を離れて専門的なことを学ぶ機会は、就職以降初めての経験でした。年齢や所属部署の異なる様々な背景を持った同期と行なうグループワークや演習での学びは、自施設では経験できない実践や新しい知識を学習する機会となり、大きな刺激となりました。また、救急看護に関する知識や経験が少ないため不安や戸惑いがありましたが、同期と共に学習し支えあることで教育課程を修了することができました。

救急看護とは、救命だけでなく救急受診した患者が、その人らしい生活できる地域へ帰る支援も重要なケアの一つです。自施設は地域の二次医療機関として生活に密着した医療を行なっています。病院の特性を活かした救急看護をスタッフとともに実践していきたいと思います。

平成 28 年度 和歌山県看護協会 通常総会プログラム

◉ 日 程：平成 28 年 6 月 18 日（土）　◉ 場 所：県民文化会館　小ホール

12：20　開場
12：50　オリエンテーション
13：00　開　会
　物故会員への黙祷
　会長挨拶
　来賓祝辞
　祝電披露
　和歌山県看護協会長表彰
（休　　憩）
13：50　議長団選出
　議事録署名人選出
　平成 27 年度総会議事録朗読
14：00　報告事項
　日本看護協会代議員報告
　理事会報告
　職能委員会報告
　常任委員会・特別委員会報告
　地区支部報告
　平成 27 年度事業報告
　平成 28 年度重点事業並びに事業計画
　平成 28 年度収支予算
議決事項
（第一号議案～第三号議案）
新役員紹介
　旧役員への謝辞
　旧役員代表者挨拶
　綱領宣言
　看護協会歌合唱
16：30　閉　会

＊進行上の都合により、時間が変更となる場合があります。

第一号議案　平成 28 年度役員及び推薦委員並びに平成 29 年度公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について

第二号議案　平成 27 年度決算報告並びに監査報告（案）

第三号議案　定款の変更

報告事項

理事会報告

Ⅰ　理事会等開催状況

1. 理事会

回	開　催　日	時　　間	出席者 理事	出席者 監事
1	平成 27 年 5 月27日（水）	13：00～14：45	15	2
2	平成 27 年 6 月 3 日（水）	13：00～15：00	17	2
3	平成 27 年 6 月22日（月）	13：00～15：00	19	2
4	平成 27 年 8 月25日（火）	13：00～15：30	18	2
5	平成 27 年10月 7 日（水）	13：00～15：30	19	2
6	平成 27 年 12月 2 日（水）	13：00～15：45	19	2
7	平成 28 年 2 月24日（水）	13：00～15：45	19	1

2. 理事・各委員長・地区支部長合同開催状況

回	開　催　日	時　　間	出席者 理事	出席者 監事	出席者 委員長
1	平成 27 年 5 月 27 日（金）	15：00～16：20	15	1	10
2	平成 27 年 6 月 22 日（月）	15：00～17：00	19	2	6

3. 代議員研修会開催状況

回	開　催　日	出席者	
		代議員	5
1	平成 27 年 5 月 14 日（木）	予備代議員	3

Ⅱ　理事会開催

第 1 回理事会　平成 27 年 5 月 27 日（水）

【協議事項】

1．平成 26 年度事業実施報告（案）について
2．平成 28 年度日本看護協会代議員及び予備代議員選出（案）について
3．平成 27 年度改正役員等の推薦について
4．平成 26 年度決算報告について
5．「新看護研修センター完成記念誌」（案）の編集について
6．旧看護研修センターの売却について

以上承認

【報告事項】

1．和歌山県看護協会への提案・要望事項について
2．その他日本看護協会主催会議報告について
3．県内関係団体会議参加報告について
4．会員数について

第２回理事会　平成 27 年６月３日（水）

【協議事項】

1．平成 27 年度通常総会に向けての最終確認
（総会要綱参照）
2．平成 27 年度第３回理事会の日程について

以上承認

第３回理事会　平成 27 年６月 22 日（月）

【協議事項】

1．副会長・専務理事の選任について
2．円滑な事業運営（理事会などの年間計画について）
3．常任・特別委員会の諮問事項について
4．和歌山県ナース賞推薦について
5．その他

以上承認

【報告事項】

1．日本看護協会理事会報告について

第４回理事会　平成 27 年８月 25 日（火）

【協議事項】

1．施設会員代表者会について
2．看護協会への提案・要望について
3．和歌山県ナース章推薦順位について
4．和歌山県看護研修センターの利用料について

以上承認

【報告事項】

1．日本看護協会理事会報告について
2．日本看護協会主催会議報告について
3．県内関連団体会議参加報告について
4．離職時の届け出制度について
5．「新看護研修センター完成記念誌」について
6．各地区訪問看護ステーションなどへの出前研修について
7．会員数について
8．その他

第５回理事会　平成 27 年 10 月７日（水）

【協議事項】

1．看護研修センター施設整備資金の積み立てについて

承認

【報告事項】

1．日本看護協会理事会報告について
2．日本看護協会主催会議報告について
3．担当理事報告について
4．県内関連団体会議参加報告について
5．会員数について
6．その他

第６回理事会　平成 27 年 12 月２日（水）

【協議事項】

1．旧看護研修センター（西浜）売却の件

承認

【報告事項】

1．日本看護協会理事会報告について
2．日本看護協会主催会議報告について
3．担当理事報告について
　1）離職される方へ
　2）新「会員情報管理体制」について
4．県内関連団体会議参加報告について
5．会員数について
6．その他

第７回理事会　平成 28 年２月 24 日（水）

【協議事項】

1．平成 28 年度重点事業概要（案）について
2．平成 28 年度事業計画（案）について
3．平成 28 年度教育計画概要（案）について（継続審議）
4．平成 28 年度収支予算（案）及び資金調達、設備投資の見込み（案）について
5．平成 28 年度公益社団法人和歌山県看護協会長表彰について
6．公益社団法人和歌山県看護協会特定個人情報取扱規程（案）について

以上承認（３以外）

【報告事項】

1．日本看護協会理事会報告について
2．日本看護協会主催会議報告について
3．担当理事報告について
4．県内関連団体会議参加報告について
5．会員数について
6．その他

離職者および未就業者の届出制度について

2015 年 10 月より看護師等の離職時等の届出制度がはじまっています。個人で届け出るだけではなく、離職時の勤務先（病院等）が離職者の同意を得て代行で届け出ることもできます。また、病院等に本人届出票がある場合はそれをナースセンターにＦＡＸしてください。ナースセンターが離職者の状況に合わせた支援をさせていただきます。

和歌山県ナースセンター　ＦＡＸ 073-483-1266

平成 28 年３月 31 日

月	10	11	12	1	2	3	計
届出登録者	33	24	16	22	13	23	131
ID 申請のみ	12	2	4	2	3	5	28
計	45	26	20	24	16	28	159

とどけるん
（PC・スマホ）

平成 28 年度重点事業及び事業計画

これまでどこの国も経験したことのない急激な少子高齢社会に対し、県民に安心・安全な医療の提供、また、住み慣れた地域でその人らしくいきいきと安心して生活できるために、在宅医療を含めた地域包括ケア体制の構築など対応すべき課題が山積しております。看護職はどの領域においても役割発揮が求められており、大きな期待が寄せられています。

和歌山県看護協会は、平成 24 年度より公益社団法人となり今年で５年目を迎えました。定款第４条にそって、本協会の理念である「県民の健康な生活の実現」を目指して①看護の質の向上、②看護職がいきいきと働き続けられる環境づくり、③看護領域の開発･展開を使命に掲げています。

今年度も、公益社団法人として、県民の期待に応えられる看護の実現をめざして、使命・活動理念を軸として、次の６項目を重点事業として掲げ、活動を展開して参ります。

1．看護実践能力及び専門性の強化
2．働き続けられる環境づくりと確保定着の推進
3．県民の健康な生活の実現の推進
4．地域包括ケアシステムの構築と推進
5．保健師活動の体制整備と機能強化
6．助産実践能力強化とその体制整備

重点事業

1．看護実践能力及び専門性の強化

看護職は、生涯にわたり自己の能力開発に努め、看護の質の向上を図ることが責務です。

看護専門職能団体としての役割として、生涯教育を支援し、看護の質の向上を図ることは、協会事業の柱でもあります。

今年度も、看護職一人ひとりが自己研鑽して看護の力を発揮できるよう、教育計画に基づいて新人看護職員研修をはじめ、看護職のキャリア開発支援を推進し、看護実践能力の強化に努めます。

今年度は、昨年休講していた認定看護管理者セカンドレベルを開講いたします。円滑に推進できるよう尽力いたします。

「特定行為に係る看護師の研修制度に」ついては、日本看護協会、行政と連携をおこない、情報提供を積極的におこなって参ります。

2．働き続けられる環境づくりと確保定着の推進

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向け、看護を取り巻く環境も「治す医療」から「生活を支える医療」へと大きな転換期にあり、人材確保は喫緊の課題です。

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の一部改正により、昨年 10 月から、看護職が離職等の際に都道府県ナースセンターに届出ることを努力義務とする制度が開始されました。また、身近な場所で、離職者の届出の促進と就労相談のため、県内６ハローワークと連携し「ナースのお仕事相談」を月 12 回開催し、ナースセンターを看護職の確保・定着の総合拠点としての役割を図って参ります。

看護職の「雇用の質」向上に向けては、職場づくり、人づくり、ネットワークづくりに向けて、行政、労働局、ハローワーク等、各関係団体と連携して、ナースセンター事業を強化し、働き続けられる環境づくりと確保・定着の推進に努めます。

3．県民の健康な生活の実現の推進

看護研修センターを拠点に「県民の健康な生活」の実現に向けて、看護週間や老人月間、「まちの保健室」の開催や自殺対策予防事業、等を開催し、県民の健康増進に努めています。

今年度も、行政や関連団体と連携しながら事業を推進してまいります。

同時に、看護研修センターを拠点に看護協会への理解を深めて頂くために、様々な機会を捉えて情報発信に努め、県民の健康な生活の実現を推進して参ります。

4．地域包括ケアシステムの構築と推進

少子高齢多死社会の到来に伴い、要介護高齢者や認知症の増加等により、介護・福祉施設や在宅療養の場における看護職への期待は拡大の一途を辿っています。

和歌山県は高齢化も全国平均を上回る速さで進行し、平成 27 年１月現在全国第６位で超高齢社会を迎えています。

本看護協会では、看護師職能委員会Ⅱ（介護福祉関係施設・在宅領域）が、在宅領域のネットワークづくりや、人材確保、看護の質向上に向けて「訪問看護ステーョン等の出前事業」等も実施しています。

今年度も看護師職能委員会Ⅰ，Ⅱ、和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会、行政、及び関係機関等と連携しながら在宅看護、介護施設の看護の機能を強化し、療養を支える訪問看護・介護領域における看護の質の向上並びに人材確保に努めて参ります。

5．保健師活動の体制整備と機能強化

保健師が担っている役割は、生活習慣病予防を始めとして、介護予防等の健康課題の解決や災害支援等多岐にわたっています。保健師職能委員会では、保健師の専門性の強化、ネッワークづくり、保健師職能の組織力アップを目指して保健師の連携強化と課題解決、一昨年発表された保健師活動指針の普及に取り組んできました。

今年度においても、職能集会、保健師交流会、保健指導ミーティング等を継続し、保健師活動指針を活用し、職能活動の活発化に努めて参ります。

6．助産実践能力強化とその体制整備

助産師活動については､「院内助産システム」「助産外来」が全国的な広がりをみせている一方で、少子化や産科医不足も相まって、分娩施設の減少が続き、産科混合病棟を余儀なくされています。そのため、助産実践が積み重ねられる場が少なくなると共に、助産師の不足や偏在化が指摘されています。助産師による、安全・安心な出産環境提供体制を推進するために、「助産師のクリニカルラダーを活用した助産実践能力の強化支援」に努めています。

また、昨年より、助産師のクリニカルラダーレベルⅢ認証制度が開始され、県内においても 77 名の「アドバンス助産師」が誕生しています。認証申請に向けた情報提供や、研修を実施し、助産実践能力強化に努めて参ります。

平成 28 年度　収支予算書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
（1）経常収益			
特定資産運用益	10,000	10,000	0
特定資産受取利息	10,000	10,000	0
受取会費	55,000,000	54,000,000	1,000,000
受取会費	55,000,000	54,000,000	1,000,000
受取建設資金負担金	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
受取建設資金負担金	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
受取入会金	4,000,000	4,000,000	0
受取新入会金	4,000,000	4,000,000	0
事業収益	57,375,000	64,359,100	△ 6,984,100
受取受講料	26,000,000	34,000,000	△ 8,000,000
受取会館賃貸料	50,000	0	50,000
受取福祉年金事務費	250,000	250,000	0
受取手数料	300,000	830,000	△ 530,000
受取補助金等	8,800,000	9,850,000	△ 1,050,000
日本看護協会助成金	7,900,000	7,900,000	0
自殺対策事業受取補助金	850,000	850,000	0
地域医療再生事業受取補助金(出前講座)	0	1,000,000	△ 1,000,000
団体受取助成金	50,000	100,000	△ 50,000
受取受託金	21,975,000	19,429,100	2,545,900
日本看護協会受取業務委託金	910,000	640,000	270,000
県ナースセンター委託費	4,763,000	4,777,300	△ 14,300
高度シミュレーション研修事業委託費	796,000	796,000	0
潜在看護職員復職支援事業委託費	4,237,000	4,237,000	0
看護師等の復職支援強化・就業促進事業委託費	3,672,000	3,672,000	0
看護職員届出制度に伴う登録システム運用委託事業費	2,565,000	3,564,800	△ 999,800
専任教員継続研修委託事業	232,000	232,000	0
実習指導者研修会委託費	1,510,000	1,510,000	0
在宅看護推進事業	3,290,000	0	3,290,000
受取寄付金	700,000	800,000	△ 100,000
受取寄付金	700,000	800,000	△ 100,000
雑収入	62,000	62,000	0
受取利息	2,000	2,000	0
その他雑収入	60,000	60,000	0
経常収益計	125,147,000	133,231,100	△ 8,084,100
（2）経常費用			0
事業費	85,414,000	102,446,800	△ 17,032,800
役員報酬	6,120,000	6,550,000	△ 430,000
給料手当	14,210,000	24,460,000	△ 10,250,000
賞与	6,930,000	9,710,000	△ 2,780,000
臨時雇賃金	2,820,000	5,220,000	△ 2,400,000
退職給与引当費	1,024,000	823,000	201,000
法定福利費	4,000,000	4,173,600	△ 173,600
福利厚生費	150,000	133,200	16,800
報償費	150,000	150,000	0
会議費	500,000	740,000	△ 240,000
広報啓発費	1,500,000	740,000	760,000
旅費交通費	11,000,000	11,000,000	0
通信運搬費	1,800,000	1,813,000	△ 13,000
減価償却費	2,800,000	2,898,000	△ 98,000
消耗什器備品費	2,000,000	185,000	1,815,000
消耗品費	5,000,000	1,480,000	3,520,000
修繕費	250,000	148,000	102,000
光熱水費	2,340,000	2,500,000	△ 160,000
印刷製本費	4,500,000	4,440,000	60,000
図書整備費	600,000	400,000	200,000
賃借料	1,300,000	1,110,000	190,000
調査研究費	10,000	10,000	0
保険料	250,000	296,000	△ 46,000
委託費	1,500,000	2,590,000	△ 1,090,000
諸謝金	14,000,000	16,000,000	△ 2,000,000
租税公課費	50,000	4,070,000	△ 4,020,000
情報処理費	400,000	592,000	△ 192,000
支払手数料	150,000	185,000	△ 35,000
雑支出	60,000	30,000	30,000
管理費	32,843,000	30,262,400	2,580,600
役員報酬	4,880,000	5,170,000	△ 290,000
給料手当	5,810,000	7,710,000	△ 1,900,000
賞与	3,420,000	3,870,000	△ 450,000
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付引当費	303,000	274,000	29,000
法定福利費	1,700,000	1,466,400	233,600
福利厚生費	150,000	46,800	103,200
渉外費	100,000	200,000	△ 100,000
会議費	200,000	260,000	△ 60,000
広告宣伝費	250,000	260,000	△ 10,000
旅費交通費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
通信運搬費	600,000	800,000	△ 200,000
減価償却費	1,200,000	866,000	334,000
消耗什器備品費	500,000	65,000	435,000
消耗品費	1,200,000	520,000	680,000
修繕費	1,500,000	100,000	1,400,000
印刷製本費	1,800,000	1,560,000	240,000
光熱水費	660,000	650,000	10,000
賃借料	200,000	390,000	△ 190,000
会館委託料	3,000,000	1,500,000	1,500,000
保険料	150,000	104,000	46,000
諸謝金	1,500,000	1,000,000	500,000
租税公課費	1,500,000	1,430,000	70,000
諸会費	50,000	150,000	△ 100,000
情報処理費	1,000,000	300,000	700,000
支払負担金	0	0	0
支払手数料	120,000	65,000	55,000
雑費	50,000	5,200	44,800
経常費用計	118,257,000	132,709,200	△ 14,452,200
評価損益等調整前当期経常増減額	6,890,000	521,900	6,368,100
評価損益等計			0
当期経常増減額	6,890,000	521,900	6,368,100
2 経常外増減の部			
（1）経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（2）経常外費用			
経常外収費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	6,890,000	521,900	6,368,100
一般正味財産期首残高	647,795,465	647,795,465	0
一般正味財産期末残高	654,685,465	648,317,365	6,368,100
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	654,685,465	648,317,365	6,368,100

正味財産計算予算書内訳表

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
1．経常増減の部					
（1）経常収益					
特定資産運用益	0	0	10,000		10,000
特定資産受取利息	0	0	10,000		10,000
受取会費	0	0	55,000,000		55,000,000
受取会費	0	0	55,000,000		55,000,000
受取建設資金負担金	0	0	8,000,000		8,000,000
受取建設資金負担金	0	0	8,000,000		8,000,000
受取入会金	0	0	4,000,000		4,000,000
受取入会金	0	0	4,000,000		4,000,000
事業収益	56,115,000	50,000	1,210,000		57,375,000
受取受講料	26,000,000	0	0		26,000,000
受取会館賃貸料	0	50,000	0		50,000
受取福祉年金事務費	0	0	250,000		250,000
受取手数料	300,000	0	0		300,000
受取補助金等	8,750,000	0	50,000		8,800,000
日本看護協会受取助成金	7,900,000	0	0		7,900,000
自殺対策事業受取補助金	850,000	0	0		850,000
団体受取助成金		0	50,000		50,000
受取受託金	21,065,000	0	910,000		21,975,000
日本看護協会受取業務受託金	0	0	910,000		910,000
県ナースセンター受取委託費	4,763,000	0	0		4,763,000
高度シミュレーション研修事業委託費	796,000	0	0		796,000
潜在看護職員復職等支援事業委託費	4,237,000	0	0		4,237,000
看護師等の復職支援強化・就業促進事業委託費	3,672,000	0	0		3,672,000
看護職員届出制度に伴う登録システム運用委託事業費	2,565,000	0	0		2,565,000
専任教員継続研修事業費	232,000	0	0		232,000
実習指導者研修会委託費	1,510,000	0	0		1,510,000
在宅看護推進事業委託費	3,290,000	0	0		3,290,000
受取寄付金	0		700,000		700,000
寄付金収益	0	0	700,000		700,000
雑収益	0		62,000		62,000
受取利息	0	0	2,000		2,000
その他の雑収益	0	0	60,000		60,000
経常収益計	56,115,000	50,000	68,982,000		125,147,000
（2）経常費用					
事業費	85,414,000	0	0		85,414,000
役員報酬	6,120,000	0	0		6,120,000
給料手当	14,210,000	0	0		14,210,000
賞与	6,930,000	0	0		6,930,000
臨時雇賃金	2,820,000	0	0		2,820,000
退職給付引当費	1,024,000	0	0		1,024,000
法定福利費	4,000,000	0	0		4,000,000
福利厚生費	150,000	0	0		150,000
報償費	150,000	0	0		150,000
会議費	500,000	0	0		500,000
広報啓発費	1,500,000	0	0		1,500,000
旅費交通費	11,000,000	0	0		11,000,000
通信運搬費	1,800,000	0	0		1,800,000
減価償却費	2,800,000	0	0		2,800,000
消耗什器備品費	2,000,000	0	0		2,000,000
消耗品費	5,000,000	0	0		5,000,000
修繕費	250,000	0	0		250,000
光熱水費	2,340,000	0	0		2,340,000
印刷製本費	4,500,000	0	0		4,500,000
図書整備費	600,000	0	0		600,000
賃借料	1,300,000	0	0		1,300,000
調査研究費	10,000	0	0		10,000
保険料	250,000	0	0		250,000
委託費	1,500,000	0	0		1,500,000
諸謝金	14,000,000	0	0		14,000,000
租税公課費	50,000	0	0		50,000
情報処理費	400,000	0	0		400,000
支払手数料	150,000	0	0		150,000
支払助成金	0	0	0		0
支払寄付金	0	0	0		0
雑支出	60,000	0	0		60,000
管理費	0	0	32,843,000		32,843,000
役員報酬	0	0	4,880,000		4,880,000
給料手当	0	0	5,810,000		5,810,000
賞与	0	0	3,420,000		3,420,000
臨時雇賃金	0	0	0		0
退職給付引当費	0	0	303,000		303,000
法定福利費	0	0	1,700,000		1,700,000
福利厚生費	0	0	150,000		150,000
渉外費	0	0	100,000		100,000
会議費	0	0	200,000		200,000
広告宣伝費	0	0	250,000		250,000
旅費交通費	0	0	1,000,000		1,000,000
通信運搬費	0	0	600,000		600,000
減価償却費	0	0	1,200,000		1,200,000
消耗什器備品費	0	0	500,000		500,000
消耗品費	0	0	1,200,000		1,200,000
修繕費	0	0	1,500,000		1,500,000
印刷製本費	0	0	1,800,000		1,800,000
光熱水料費	0	0	660,000		660,000
賃借料	0	0	200,000		200,000
会館委託料	0	0	3,000,000		3,000,000
保険料	0	0	150,000		150,000
諸謝金	0	0	1,500,000		1,500,000
租税公課	0	0	1,500,000		1,500,000
緒会費	0	0	50,000		50,000
情報処理費	0	0	1,000,000		1,000,000
支払負担金	0	0	0		0
支払手数料	0	0	120,000		120,000
雑費	0	0	50,000		50,000
経常費用計	85,414,000	0	32,843,000		118,257,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△29,299,000	50,000	36,139,000		6,890,000
評価損益等計					
当期経常増減額	△29,299,000	50,000	36,139,000		6,890,000
2．経常外増減の部					
（1）経常外収益					
経常外収益計					0
（2）経常外費用					
経常外費用計					
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額					
当期一般正味財産増減額	△29,299,000	50,000	36,139,000		6,890,000
一般正味財産期首残高	429,750,020	843,032	217,202,413		647,795,465
一般正味財産期末残高	400,451,020	893,032	253,341,413	0	654,685,465
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	400,451,020	893,032	253,341,413	0	654,685,465

職能委員会報告

保健師職能委員会　委員長　櫻根桂子

【活動目標】
保健師の連携強化・資質の向上を図り、いきいきと元気に活動する。

【活動内容】
○職能委員会開催回数：７回開催
○職能集会：平成 27 年８月１日（土）開催
・場所：和歌山県看護研修センター
・参加者数：47 名
・講演：テーマ「今、保健師活動に期待すること」
・講師：和歌山県福祉保健部健康局局長　野尻　孝子 氏
・報告：「平成 27 年度日本看護協会および県看護協会職能委員会活動方針について」　保健師職能委員長
○三職能合同研修会：平成 27 年８月２日（土）開催
・場所：和歌山県看護研修センター
・参加者数：163 名
・講演：テーマ「職場のメンタルヘルスとセルフケア」
～笑顔とプラス思考が職場の元気～
・講師：下口雄山メンタルフィットネス代表
心理カウンセラー　下口　雄山 氏
○交流会「住民とともに歩んだ保健師活動」
～つれもていこら保健師カフェ～
・平成 28 年１月 30 日（土）開催
・場所：和歌山県看護研修センター
・参加者数：35 名
・講演：「保健師活動をふり返って～住民の思い・保健師の思い～」
かつらぎ町役場花園支所　課長補佐　弓庭　喜美子氏
・交流会：「みんなで語ろう　楽しい保健師活動を」グループワーク
○統括保健師の普及について県看護主管課へ要望
○地域住民の健康増進
「まちの保健室」への協力
○会員増加に関する対策
①保健師職能だよりの発行：14 号、15 号、16 号
②和歌山県看護協会ホームページへの掲載
③職能委員会報告を行い、委員会活動、協会活動を紹介する（職能委員より管内全市町村に）。

【今後の課題】
①保健師職能だより等を利用しながら、協会活動を多くの保健師に伝え、加入率の増加を図る。
②新任期を対象とした保健師教育の充実を図るため、保健指導ミーティング事業を開催する。
③県、市町村、病院、産業保健師など保健師間の連携を図るため交流会を開催する。
④地域包括ケアシステム構築に向けて他職種との連携を図っていく。

助産師職能委員会　委員長　坂本裕美子

【活動目標】
1．助産師のキャリアパス / 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の普及と啓発
2．助産実践能力向上のために、キャリアアップ研修を開催する
3．助産師職能として思春期教育出前事業を行い、地域に根ざした活動を行う

【活動内容】
1．職能委員会　９回開催
・助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）を中心とした情報提供と意見集約
・助産師職能委員会活動の計画、準備、実施、評価、他
2．助産師職能集会
日時：平成 27 年 10 月 31 日（土）10：00 ～ 12：00
場所：和歌山県看護研修センター　研修室２
参加者：40 名
内容：
・助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証制度の状況
・平成 27 年度　助産師職能委員会活動について
・助産師研修：テーマ「産科診療ガイドラインに添って助産師の役割」
講師：古川　健一 氏　橋本市民病院院長代理
3．３職能合同研修会の開催
日時：平成 27 年 10 月 31（土）13：00 ～ 16：00
場所：看護研修センター　大ホール
テーマ：「職場のメンタルヘルスとセルフケア」
講師：下口　雄山 氏　心理カウンセラー・
下口雄山メンタルフィットネス代表
参加者：163 名
4．助産師研修会
《第１回》
日時：平成 27 年７月 25 日（土）13：00 ～ 16：00
場所：看護研修センター　研修室１
テーマ：「産科医療補償制度と助産記録」
講師：三島　みどり 氏
和歌山県立医科大学保健看護学部　助産専攻科教授
参加者：47 名
《第２回》
日時：平成 28 年２月 20 日（土）13：00 ～ 16：10
場所：看護研修センター　大ホール
テーマ：「母体急変への対応」
講師：村井　隆 氏　愛仁会高槻病院総合診療科医長
参加者：47 名
5．近畿地区助産師合同研修会
◎助産実践能力強化支援事業を申請し２回開催
《第１回》
日時：９月 12 日（土）12：30 ～ 16：30
場所：京都府　佛教大学二条キャンパス
参加者：279 名（会員無料）
テーマ：「助産実践能力強化に向けて～助産師のキャリアを支援する～」
講義①「妊娠期のフィジカルアセスメント」
講師：小林　浩 氏　奈良県立医科大学産婦人科教授
講義②「周産期における生命倫理～心を育む周産期医療」
講師：仁志田　博司 氏　東京女子医科大学名誉教授
《第２回》
日時：10 月３日（土）13：00 ～ 16：30
場所：大阪府看護協会ナーシングアート　レモンホール
参加者：233 名

テーマ：「助産実践能力強化研修～助産師の原点に戻る～」
講義①「助産実践能力向上　助産倫理に基づく助産ケア」
講師：福井　トシ子 氏　日本看護協会常任理事
講義②「子育てと家族を支える原点を見つめる
～難病の子供と家族への支援を通して～」
講師：大住　力 氏
公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を　代表理事

6．第46回日本看護学会（看護教育）における演題発表
日時：平成27年8月7日
場所：奈良県文化会館
演題：「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）推進に向けた合同研修会の試み～アドバンス助産師を目指すために～」
＊平成26年度近畿地区助産師合同研修会での２回のアンケート調査を基に演題発表。

7．ＮＨＫ和歌山放送局への取材協力
番組　「あすのＷＡ！」（ＮＨＫ総合・和歌山県域）
平成28年3月23日（水）18：30～19：00放送
内容：アドバンス助産師誕生の背景、県内の出産事情について、２施設の助産外来・院内助産でのアドバンス助産師の勤務状況についての取材協力

8．思春期教育出前事業（１回）
日時：平成27年7月2日（木）9：00～11：00
場所：和歌山市立高積中学校
内容：生命の誕生、思春期における心身の変化、性感染症について
参加者：中学３年生男女180名

9．町の保健室への協力
合計４回（7/18、11/21、1/16、3/19）、育児や女性の健康相談に対応

10．セーフマザーフッド募金の協力
今年度の研修会にて募金を呼びかけ、¥6,213を日本看護協会経由でＩＣＭに送金

【今後の課題】

今年度より助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証制度が開始となり県内でも77名のアドバンス助産師が誕生している。正常経過の妊産褥婦の健康診査やきめ細かいケアを担えるアドバンス助産師の活躍の場として、助産外来や院内助産を開設・発展させていく必要がある。

また、少子高齢化、県内の分娩施設の集約化により助産師の就業先は偏在化し、分娩取扱をしていない施設や産科混合病棟における問題など、助産師を取り巻く環境は変化している。

県内会員5,513名中、助産師会員は200名3.6%と少数であり、スムーズに情報を伝達し、意見を集約するためにも、助産師職能のネットワーク化が必要である。

（会員数はH28年2月24日現在）

看護師職能委員会Ⅰ

委員長　澤田康幸

【活動目標】

1．看護職の役割を認識し、看護実践能力強化をはかるための支援を行う
2．看護職が健康で安全に働き続けるために、26年度の調査結果をもとに、改善に向けた取り組みを支援する
3．県看護協会を中心とした各委員会・地区支部との連携強化とネットワーク作りを行い情報交換・意見集約を行う

【活動内容】

委員会開催　10回

1．看護師職能集会
日時：平成27年10月31日（土）10：00～12：00
場所：和歌山県看護研修センター
参加者：179名
講演：
テーマ　ホントの気持ち「ぶっちゃけ」てイキイキ職場に！
～「ぶっちゃけ系」カウンセラーマツモトの「ぶっちゃけ」のススメ～
講師：日本メンタルヘルス協会認定
基礎心理カウンセラー　松本　良彦 氏

2．三職能合同研修会
日時：平成27年10月31日（土）10：00～12：00
場所：和歌山県看護研修センター
参加者：163名
講演：
テーマ「職場のメンタルヘルスとセルフケア」
～笑顔とプラス思考が職場の元気～
講師：下口雄山メンタルフィットネス代表
心理カウンセラー　下口　雄山 氏

3．看護師職能Ⅰ研修会
日時：平成27年11月28日(土)　13：30～16：30
場所：和歌山県看護研修センター　　参加者：41名
講演：テーマ「看護チームにおける看護職と看護補助者との協働」
講師：日本看護協会　看護開発部　看護業務課
安西　恵梨子 氏

4．准看護師研修会
日時：平成28年1月16日(土)　13：30～16：00
場所：和歌山県看護研修センター
参加者：59名
講演：テーマ「楽しく学ぶ医療安全」
講師：看護師職能Ⅰ委員長　済生会和歌山病院医療安全管理室室長
澤田　康幸 氏

5．男性看護師交流会
日時：平成28年2月13日(土)　13：00～16：00
場所：和歌山県看護研修センター
参加者：55名
講演：「それぞれのキャリア形成」
～安心してください！僕たちやってこれました～
講師：①看護師職能Ⅰ委員
和歌山県立こころの医療センター　副看護師長
山本　初太郎 氏
「精神科看護一筋30年」
②看護師職能Ⅰ委員長
済生会和歌山病院医療安全管理室室長
澤田　康幸 氏
「看護管理者への道のり」

【今後の課題】

①外来に通院する患者が状態を悪化させることなく、在宅療養を継続するための看護師の取り組みについての現状把握および課題発見
②標準化された看護師のクリニカルラダーの理解と周知

看護師職能委員会Ⅱ

委員長　中　野　美　枝

【活動目標】
1．介護・福祉施設・在宅領域の看護職の質の向上
2．地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくり
3．三職能の連携強化
4．看護協会活動のＰＲを行い、施設・在宅関連の協会員の増員を図り看護師職能の組織強化を図る

【活動内容】
1．介護・福祉施設・在宅領域の看護職の質の向上
　1）県下介護施設における看取りの現状把握のアンケートの実施
　2）「介護施設等における看取り研修プログラム」のパンフレット配布
　3）地区別高齢者ケア施設の看護管理者交流会（京都）への参加
　　和歌山県からは７施設の看護管理者が参加した。
2．地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくり
　1）出前研修
　　訪問看護ステーション・介護施設で働く看護職・介護職等、他職種を対象に各地区で実施予定
　　研修後に交流会を行い、ネットワークづくりを強化する
　2）市民向けの研修の開催
　　日時：平成28年３月５日（土）
　　テーマ：「笑いと健康」
　　講師：西本　真司 氏
　　参加人数：36名

3．看護師職能集会の企画運営
・看護職能集会の企画運営
　日時：平成27年10月31日（土）
　テーマ：「人材育成」
　講師：松本　良彦 氏
・三職能集会企画運営
　日時：平成27年10月31日（土）
　テーマ：「メンタルヘルス」
　講師：下口　雄山 氏

【今後の課題】
　今年度の施設での看取りアンケート調査の結果、介護職員への教育や移行のタイミング、家族への支援調整等で悩んでいることがわかった。その為、和歌山版の看取りのパンフレットを作成し、今後３地区にてパンフレットに沿った研修を行う予定である。市民公開講座についても継続する。看護管理者交流会についても次年度開催予定とする。

地　区	伊　都	和歌山市･海南	日　高	紀　北	紀　南	那　賀	新　宮	和歌山市･海南
日　時	8／27	9／19	11／28	12／5	12／12	1／16	2／13	3／12
テーマ	リスクマネージメント	看取り	感染管理	意思決定	看取り	感染管理	看取り	感染管理
講　師	南　たえこ	和田　洋子	西川　滋子	扶蘓　由起	和田　洋子	西川　滋子	和田　洋子	西川　滋子
参加者数	41名	60名	47名	30名	38名	16名	30名	87名

常任委員会報告

社会経済福祉委員会

委員長　名　越　　幸

【活動目標】
1．看護職がいきいきと働き続けられる職場作りに向けて、「ＷＬＢ推進ワークショップ」の取り組みを支援する。
2．看護職への禁煙推進活動

【活動内容】
・回　数：委員会開催回数　6回
1．今年度は、ＷＬＢを重点的に取り組み、年２回開催の「ＷＬＢ推進ワークショップ」の事業運営についてＷＬＢ推進委員会をサポートした。

4月	・第１回社会経済福祉委員会開催 ・WLB推進委員会へ参加 参加施設は平成26年度から引き続く中谷病院の１施設と平成27年度からの和歌山生協病院、有田市立病院、宇都宮病院の３施設の計４施設
5月	・第２回社会経済福祉委員会開催 ・平成27年度委員会年間計画の立案 ・施設における看護師向け禁煙対策の紹介依頼文書を作成 ・第１回WLB合同会議へ参加 WLB参加施設と担当委員、WLB推進委員、支援者との打ち合わせ 支援者よりインデックス調査についての説明
6月	・第３回社会経済福祉委員会開催 ・世界禁煙フォーラム2015の参加報告 ・WLBワークショップに向けての準備・役割分担 ・黒潮132号への掲載文を作成 ・黒潮掲載原稿を施設へ依頼 ・禁煙アドバイザー育成講習会参加報告
9月	・第４回社会経済福祉委員会開催 ・9/1　第２回WLB合同会議へ参加 ・9/7、8　WLB推進ワークショップ開催 ①WLBの基本的な考え方について ②看護職のWLBインデックス調査及び調査結果の見方について ③WLB実現のためのアクションプランについて 各施設に分かれ、インデックス調査結果の分析から問題、課題を明確にしアクションプランを作成。それに基づいて全体討議。 ・第133号黒潮掲載原稿確認 （勝浦温泉病院　自施設での職員を対象とした禁煙への取り組み）
12月	・第５回社会経済福祉委員会開催 WLBフォーローアップワークショップの役割分担 ・第３回WLB合同会議へ参加 ・フォローアップワークショップ（平成27年1月22日開催）プログラムについての打ち合わせ

1月	・第２回 WLB フォローアップワークショップ参加 各施設での取り組みの報告・討議・意見交換
2月	・第６回社会経済福祉委員会開催 ・平成 27 年度事業活動のまとめ ・平成 28 年度事業活動計画（案）の作成 ・第２回 WLB 推進委員会に参加

２．看護職の禁煙推進活動

１）和歌山県看護協会会報「黒潮」へ禁煙推進記事を下記の内容で掲載した。

①第 132 号へ「世界禁煙デーフォーラム 2015in 和歌山参加報告」

②第 133 号へ「自施設での職員を対象とした禁煙への取り組み」（勝浦温泉病院　西谷益子）

【今後の課題】

１．看護職の職場定着に向けて、WLB 推進ワークショップへの取り組みの継続

２．看護職への禁煙推進活動の継続

教　育　委　員　会

委員長　大　江　勤　子

【活動目標】

看護専門職としての知識・技術を深め、看護実践能力の向上に必要な教育の企画・運営を行うことができる

【活動内容】

・教育委員会開催回数　13 回

・研修の企画・運営・評価を行った。

・研修会は 27 テーマ（33 日）を開催した。

・研修内容について

新人研修は「看護技術」「看護倫理」「医療安全」「感染対策」の４本柱に加え、今年度から「新人のためのフィジカルイクザミネーション」研修を取り入れ、観察方法とアセスメントの視点を学べるようにした。12 月に実施したことから、新人が自分の観察方法を見直す良い機会となり、学びが深まっていた。

ジェネラリスト研修では、地域連携がスムーズに行えるように継続看護の必要性が高まっているため、「入院時から始める退院支援・退院調整」の研修を企画し、多数の参加を得た。看護研究の研修では、初心者向けと研究指導に携わる者向けの２つを実施し、看護研究を支援できるようにした。また、中堅者を対象とした「ファシリテーターの役割とスキル」研修は、スタッフの意見や力を引き出す技術体験を行い、好評であった。

管理者研修では「『マグロ船流』リーダーシップの磨き方」を実施し、対人関係におけるコミュニケーション技術の向上や組織活性術を伝授してもらい、大好評を得た。

平成２７年度は、紀北・紀南で行われた復職支援研修の看護技術演習講師として、教育委員が関わった。ブランクがある復職者にとって、実際に看護技術を体験できる機会は良い機会となっていた。今後も継続して支援していきたい。

・開催場所

看護研修センター 28 回、ビッグＵ４回、紀南文化会館１回

【今後の課題】

共通分野だけでなく専門分野にも目を向け、看護の専門性を向上させることが出来る研修企画を行う。この企画においては当委員会だけでなく、各職能や認定看護師委員会等と連携を強化して行っていきたい。また研修方法は、講義形式だけでなく、演習やグループワーク等を取り入れ、受講者が積極的に参加しながら学べるものを企画していきたい。

広　報　委　員　会

委員長　河　村　真由美

【活動目標】

１．和歌山県看護協会の動向、タイムリーな情報、最新の情報の提供

２．読者参加型の紙面づくり

【活動内容】

１．年間８回の会議を開催した。

２．和歌山県看護協会会報「黒潮」を４回発行した。
（第 131 号～ 134 号）

３．和歌山県看護協会の動き、各職能委員、専門・認定看護師、地域連携、知って得する看護協会便りなどのコーナーを継続した。

４．「訪問看護ステーションだより」「医療安全数珠つなぎ」「「私の○○」「リレーエッセイ友達の輪」「My Hospital」などのコーナーを継続した。

５．新看護研修センターの紹介や設備、開催した研修を紹介した。

６．第 133 号より「男の時短料理」として今年度課題である料理コーナーをはじめた。

７．「黒潮」の表紙写真を読者の方から頂き、紹介した。

８．現会員以外の方にも看護協会を紹介したいと考え、看護学生の紙面への参加を検討した。諸問題があり今年度は実施できなかった。

９．協会ホームページについて、訂正箇所のチェックや改善点について検討・提案した。モバイル版ホームページの運用を提案した結果、次年度導入予定となった。

10．今年度課題である紙面についてのアンケート調査は、諸問題のためできなかった。

11．「黒潮」読者プレゼントについて、文房具や書籍、入浴券、学会参加費用など提案した。結果、プレゼントの在庫や予算問題から、クオカードを次年度より追加予定となった。

【今後の課題】

１．「黒潮」がより読者参加型の紙面となるよう、意見・要望を広く読者の方に求めたい。方法として、アンケート調査は諸問題により困難であるため、紙面やホームページ、研修会、他の委員会等を活用していきたい。

２．和歌山県看護協会の更なる充実・発展のためには、会員数の維持・獲得は大きな課題である。次年度は新規採用職員や看護学生への働きかけを重点的に行いたい。方法として「黒潮」やホームページで、協会の魅力や取り組みをアピールしたい。

３．ホームページ及びモバイル版運営に関して内容の検討・提案を行う。新会員情報管理体制導入への効果的な広報活動を考え、会員サービスの充実と向上を図る。

医　療　安　全　対　策　委　員　会

委員長　谷　川　聖　子

【活動目標】
1．医療安全管理者の養成
2．医療安全管理者修了生のスキルアップ
3．医療安全管理者ネットワークの構築
4．和歌山県の医療安全活動の現状の把握と情報交換

【活動内容】
委員会開催回数８回
1．医療安全管理者養成研修会の開催
平成27年度は、７月から12月まで７回開催した。参加者62名。修了者は60名。
平成26年度のe-ラーニング研修時は42名の参加であったが、７日間の集合研修になり、62名と参加者が増加した。平成26年度の研修未修了者１名が今年度追加研修で修了した。来年度も７日間の集合研修を開催する
2．県内医療安全管理者養成研修会修了者の支援およびフォローアップ研修の開催
フォローアップ研修を２回開催した。

3．医療安全管理者交流会の開催
フォローアップ研修後、１回交流会としてグループワークをおこなった。

①日時：平成27年12月21日（月）
公立瀬戸旭看護専門学校　副校長　森田　恵美子 氏
「現場で活かす事例分析 RCA」
参加者：76名
②日時：平成28年１月27日（水）
トヨタ自動車株式会社　トヨタインスティテュート
荒川　啓 氏
「トヨタ自動車における人材育成について」
参加者：97名

4．医療安全に関する情報の発信（県内医療安全管理者の取り組みをHPに掲載し、情報提供する。）
和歌山県看護協会会報「黒潮」医療安全数珠つなぎ（平成23年８月開始）、医療安全情報ホームページ（平成26年４月開始）により情報提供した。今年度は看護協会ホームページ医療安全情報を３施設掲載した。

【今後の課題】
・看護協会ホームページの医療安全情報の掲載を継続し、医療安全管理者のネットワーク拡大を進めていく。
・Safety Ⅰ から Safety Ⅱ への考えを発信していく。
・医療安全管理者養成研修をすべて看護研修センターで開催するため、フォローアップ研修は紀南地方での開催を検討する。

災　害　看　護　対　策　委　員　会

委員長　大　江　徳　子

【活動目標】
1．災害支援ネットワークシステムの構築
・災害支援活動マニュアルの整備
・災害支援ナース登録の整備
2．災害支援ナースの育成
・災害看護研修の企画・実施
・フォローアップ研修の企画・実施

【活動内容】
1．委員会の開催（毎月１回）
・災害支援活動マニュアルの整備にむけて
・災害支援ナース登録の推進
（申請書の配布・登録・管理について）
2．災害看護研修の開催
・災害看護Ⅰ（衛星通信：基礎編）
・災害看護Ⅱ（災害支援ナース育成研修）
・フォローアップ研修
3．災害支援ナース携行物品の準備
・必要物品の選択と準備

看　護　研　究　学　会　委　員　会

委員長　坂　口　　正

【活動目標】
看護研究学会の円滑な運営に向けての準備、調整を行う

【活動内容】
回数　委員会11回　看護研究学会　平成27年２月27日（土）
1．審議事項
1）看護研究学会のテーマの検討
・学会のテーマは「輝く笑顔でよりそう看護～その人らしさをつなぐケア～」とした。
2）特別講演の講師の選定、講師依頼内容の検討
・特別講演は、暮らしの保健室　室長　秋山正子 氏に「訪問看護から見えてきた地域包括ケア」と題して、ＮＨＫプロフェッショナル　仕事の流儀に出演された時の話を含めて講演していただいた。
3）シンポジウムの内容およびシンポジストの検討
・シンポジウムでは４名のシンポジストの方に「切れ目のない地域連携のあり方」と題してそれぞれの立場からお話しいただき、その後のディスカッションでは、会場からの質問もあり活気のあるシンポジウムを行うことができた。
4）演題募集要項、抄録原稿の検討
5）査読者決定および査読判定基準の検討、査読結果の送付
・発表演題数は24題、参加者は315名であった。
6）プログラムの検討および作成、
7）抄録集の検討および作成、印刷依頼
8）運営のしおりの検討および作成
9）広報活動の検討（ポスター制作含む）
10）次年度の看護研究学会のテーマ、特別講演および講師の検討、看護研究学会の開催会場の検討

【今後の課題】
発表演題数は 24 題で昨年より減少し、示説での発表が 9 題と少なく演題募集の方法を含め今後検討が必要と思われる。研究内容やスライド、ポスターの作成は年々上達しているように感じられた。口演会場では会場からの質問が少なく、座長から質問する場面が多くみられる群もあった。今後活発な意見交換ができるように検討する必要がある。
今年度の看護研究学会の参加者は昨年度より減少したが、参加者からのアンケート結果からは特別講演やシンポジウムに関して好評な意見が多くみられた。今後も学会に多く参加してもらうためにも、学会の広報を含め学会参加者が興味を持って参加できるように、学会の企画・運営の詳細を決定していきたい。

特 別 委 員 会 報 告

認定看護管理者教育運営委員会　委員長　藤 本 美 幸

【活動目標】
認定看護管理者教育課程（セカンドレベル・ファーストレベル）実施や改善のための検討を行い、教育課程の充実と推進を図り、円滑な研修の運営を実施する

【活動内容】
回数：運営委員会 6 回
ファーストレベル開講式、閉講式　看護管理実践報告会

1．平成 27 年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程の実施と評価
H27 年度は、国体開催のため例年より遅い開講とした。10 月 14 日（開講式）から 12 月 9 日（閉講式）までの 7 教科 150 時間を実施し、50 名が修了した。研修修了後のアンケート結果は、各講師とも好評だった。また、閉講式では、修了者全員が研修での学びと今後の課題について発表した。
2．看護管理実践報告会の開催
H26 年度セカンドレベル教育課程修了者のフォローアップ研修として、H27 年 2 月 6 日に看護管理実践報告会を開催した。22 名が 1 年間の実践を報告した。
3．ファーストレベル修了者のフォローアップ研修について
H27 年度は、ファーストレベル研修の公開講座の案内、H27 年度ファーストレベル受講生へ看護管理実践報告会の案内を行った。結果、H26 年度に比べわずかではあるが（5 名増）、管理職以外の参加が増えた。受講前後の自己評価も受講前後で上昇していた。

【今後の課題】
・ファーストレベル教育課程、セカンドレベル教育課程の研修会の運営
・セカンドレベル教育課程の受講者の確保
・ファーストレベル教育課程の受講者選考基準について評価・修正
・看護管理実践報告会の運営（H27 年度のセカンドレベル教育課程を開催しなかったため、過去に発表していない修了者を対象）の検討

「まちの保健室」運営委員会　委員長　野 上 千 晶

【活動目標】
1．「まちの保健室」開催の定着化を図り、地域住民の健康に対する認識と看護協会活動の理解を高める。
2．地域住民の生活習慣見直しのきっかけづくりや改善に向けての支援ができる。
3．高校、短大や看護の日のイベント等での開催を通じて、看護への関心を高め人材育成につなげる。

【活動内容】
今年度の活動回数は 13 回（「まちの保健室」健康チェック事業開催 7 回　委員会議開催 6 回）であった。「まちの保健室」への参加者総数は 649 名、平均 92 名であった。今年度は刑務所で初めて開催したため、昨年度より参加者数は増加した。参加者数増加の要因は、開催場所を一定化していることや次回開催日を掲示したことで効果があったと思われる。また、和歌山刑務所でのイベント内で行えたことや、当日開催案内を配布したり、入口付近にポスターを貼ったことにより、まちの保健室開催を周知させる試みをしたことも、参加者増加に効果があったものと考えられる。しかし、リピータ率は、19.6%であり、徐々に上がってきているものの依然として通りすがりで初めての参加者が最も多く、事前広報が十分でなかった面も否定できないため、今後広報を効率よくしていくために取り組んでいく必要がある。
参加者の年齢は、60 代以上が 44.6%であった。各計測項目では、骨密度測定が好評で特に女性に関心が高かった。健康相談では、参加者からの要望により生活習慣改善についてのパンフレットを配布する試みをおこなった。今年度も各職能や栄養士の方々の協力を得て、総合的かつ専門的な説明を行うことができた。また、相談内容も多種多用であり、各相談の担当者は資料を準備し効果的な指導がなされ好評であった。
参加者アンケートの回収率は 92.7%であった。隔月での運営委員会では、協力員からの意見や評価・反省の他、アンケートで寄せられた意見について検討した。また、開催運営には毎回 10 名前後の要員が必要で、委員の他に各施設やセカンドキャリアから、のべ 56 名の協力委員に支援をいただいた。
今年も信愛女子短期大学・向陽高校の 2 校で健康チェック事業を開催し、両校で 317 名の参加者があった。男子生徒も白衣体験をしたり、聴診器で実際の心音や脈拍を測定する体験ができ好評であった。昨年度に比べ参加者数は横ばいであった。また、看護職をはじめ医療職志望の生徒が多かったので今後の参考になるという意見もあった。

【今後の課題】
1、アンケートでは看護協会を知らないと答えた方は 74.9%であった。次年度も引き続き看護協会活動の広報を行っていく必要がある。リビング和歌山への開催についての掲載やポ

ケットティッシュの配布、開催中施設の入り口付近への掲示も継続していき、(公社) 看護協会の理解と認識を高めていく。
2、次年度も高校や短大での開催を計画し看護への関心を高めることで人材育成につなげていく。
3、健康チェック事業を充実していけるような協力員体制の増加も考慮したい。

ナースセンター推進委員会　　委員長　上田陽子

【活動目標】
看護職員の就業促進と確保及び離職防止対策のため、県行政やハローワーク等との連携を密にし、再就業者の増加を図ると共に、看護職員の資質の向上を図る。

【活動内容】
1．委員会開催回数　9回
2．ナースセンター事業の活性強化及び就業促進
ハローワーク（橋本、和歌山、海南、湯浅、御坊、田辺）にて「ナースのお仕事相談」を開催
開催総数は：105回、来所者：72人（うち5人社会人)、
就業決定（常勤･非常勤)：23人、就業決定（臨時雇用：3人）
3．セカンドキャリア交流会開催（再就業促進研修）
開催日　平成27年11月11日
セカンドキャリア参加者数　30名
病院及び施設参加数　9施設
4．「看護の心」普及啓発事業に参加
5．その他関連事業に協力参加
1日まちの保健室等　8回

【今後の課題】
1．ナースセンター事業の普及及び啓発
2．相談窓口の充実と拡大
3．潜在看護職員の届出制度の普及及び啓発

その他委員会報告

WLB推進委員会　　推進者　山本喜久子

【事業目的】
地域を主体に看護職のワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現に取り組み、看護職がいきいきと働き続けられる環境づくりを支援する。

【活動内容】
1．推進委員会2回、参加施設推進委員合同会3回、WLB推進ワークショップ2日間、フォローアップ・ワークショップ1日間
2．参加施設　4施設
（中谷病院、和歌山生協病院、宇都宮病院、有田市立病院）
3．「WLB推進ワークショップ」において、参加施設の取り組みに対する助言・支援、ワークショップの企画運営
4．ワークショップ開催（公開講座）
開催日：平成27年9月7日（月)、9月8日（火）
場　所：看護研修センター
5．フォローアップ・ワークショップ開催（公開講座）
開催日：平成27年9月7日（月)、9月8日（火）
場　所：看護研修センター
6．アドバイザーとして参加施設への施設訪問の実施

【今後の課題】
参加施設の拡大を図る。

和歌山認定看護管理者会　　委員長　黒田美也子

【活動目標】
1．県内において質の高い組織的看護サービスの提供を目指すために看護管理者を支援する
2．県内の認定看護管理者間の交流を深め、ネットワークの構築を図る。

【活動内容】
認定看護管理者会：6回
認定看護管理者会交流会の開催：平成28年1月24日（日）
和歌山認定看護管理者会による出前講義：5回

	施設名	月日	テーマ	参加人数	参加者の役職
1	つくし医療福祉センター	10/13（火）	人材を活かすための動機づけ	17名	看護師長等の管理職
2	白浜はまゆう病院	11/5（木）	看護実践における倫理的問題の把握	20名	副看護部長、看護師長、主任･副主任
3	白浜はまゆう病院	11/27（金）	人材を活かすための動機づけ	8名	看護副部長、看護師長等の管理職
4	新宮市立医療センター	12/4（金）	看護管理に関わる診療報酬制度	26名	管理職、非管理職
5	くしもと町立病院	1/19（火）	看護の質保障	12名	看護部長、看護師長の管理職

評価：講義8コース中4施設、4コースで実施した。複数施設合同での申し込みがあり、検討した。

【今後の課題】
1．研修の具体的な内容を示すとともに広報の在り方についても検討し、参加施設を増やす。
2．看護管理者間の交流を深めるため、複数施設での合同開催を推進する。

地区支部報告

伊都地区支部　支部長　岩﨑留美

活動目標　1．地域イベントに積極的に地区支部として参加・協力していく。そこから看護協会の知名度を上げ会員の増員を目指す。

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事「1日まちの保健室」	血圧・体脂肪・骨密度測定と健康相談・指導	地域住民	5月13日	協力員 14名 参加者 145名	・開創1200年祭の中心となる金剛峯寺大師教会前での開催であり、多くの利用者があった。 ・一般の方々に看護協会活動について理解してもらうことができた。 ・測定や健康相談、栄養指導を行い健康受診の啓発をすることができた。
橋本市民病院・医師会協賛研修会	研修	医療職 地域住民	7月11日		
施設会員代表者会議	古川会長から 日本看護協会の動向と和歌山県看護協会事業報告、看護職の届け出制度について	支部施設代表者	10月16日	参加者 12名	
平成27年度事業「すこやか橋本学びの日」	救護活動	橋本市民	11月29日	協力員 2名 参加者 3,000名	大きな事故やけがの発生もなく無事に終了した。
かつらぎ町ボランティア祭り	血圧・体脂肪・骨密度測定・手洗いチェッカーと健康相談・指導	かつらぎ町民	2月20日	協力員 11名 参加者 87名	・地域イベントに参加することで地域に密着した活動につながった。 ・血圧・体脂肪・骨密度測定を通して健康指導を行い好評であった。
研修会	「呼吸器ケアに携わる慢性呼吸器疾患看護認定看護師の役割とは」 慢性呼吸器疾患看護認定看護師　白石　菜保子	看護職	3月5日	参加者 17名	・認定看護師の活動内容について周知できた。 ・呼吸器疾患に関連したフィジカルアセスメントの能力向上につなげることができた。
平成27年度事業「ジュニアリーダー研修会」	ジュニア・リーダー育成活動内での救護活動	橋本市立小学 5･6年生 スタッフ	3月24日 25日 26日	協力員 6名 参加者 70名	事故やけがのないように無事に終了することを願う。
役員会	理事会報告・支部運営に関する検討など	支部役員	7回	5名	
今後の課題	会員数の獲得のため魅力のある活動計画の立案を行う。				

那賀地区支部　支部長　大久保　まさ子

活動目標　1．地区支部活動を通し、会員及び地域住民との交流・情報提供ができる

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事「1日まちの保健室」	血圧・体脂肪・骨密度測定等 健康相談・指導	地域住民	平成27年 5月16日	119名	「看護の日」の啓蒙と住民の健康意識の向上につながった
平成27年度 地区支部集会	平成27年度事業報告・平成28年度事業計画報告	会員	平成27年 7月4日	55名	
第1回地区支部研修	テーマ 「誤嚥予防のための食事援助」	会員 非会員	平成27年 7月4日	93名	摂食・嚥下困難患者に対して具体的なケア内容でよく理解出来た。 実践に繋げたい
施設代表者会議	和歌山県看護協会の動向・入会状況等・届け出制度について	施設代表者	平成27年 10月16日	14名	
老人月間行事 第2回地区支部研修	テーマ 「ボデイメカニクスを考えた援助」	会員 非会員	平成27年 11月14日	69名	体に負担のかからない援助について理解出来た。福祉用具等に利用は大変参考になった
訪問看護ステーション出前講座	在宅・施設・病院の感染管理実際	施設・訪問看護師	平成28年 1月16日	21名	体験する事でより深く理解出来た 実践で活用できる
役員会	理事会報告 事業等に関する検討	支部役員	8回	3名	
今後の課題	1　協会活動を通し看護協会会員数の増加に努める 2　病院・施設・在宅等の看護職間の連携強化と多職種間との情報共有に努める				

和歌山地区支部　支部長　松　尾　文　美

活動目標

1．地区支部活動を通して、地域住民の看護協会への理解を深める
2．地区支部会員に対して、必要な情報を提供する
3．地区支部会員に対して、看護実践の現場に生かせる研修会を実施する

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事「まちの保健室」	出前健康チェック ・骨密度測定 ・血流測定 ・物忘れチェック ・健康・看護・介護・育児相談など	地域住民	平成27年 5月16日（土）	74人	大手のスーパーマーケットで開催し、若い方から高齢者まで参加して頂けた。
平成27年度地区支部集会	「地区支部集会」 ・平成26年度事業報告 ・平成27年度事業計画	会　員	平成27年 6月6日（土）	52人	研修会と重ねたが参加者は前年の半数であった。今後は広報活動が必要である。
第1回研修会	テーマ「みなさま楽しんでいますか」、わかやま楽落会のみなさまによる落語会を開催。	会　員 非会員	平成27年 6月6日（土）	52人	初めての試みの落語会であった。参加者は楽しんでくれたが事前の広報が必要であった。
老年看護月間行事「まちの保健室」	「出前健康チェック」骨密度測定・血流測定・物忘れチェック・健康・看護・介護相談など	地域住民	平成27年 9月12日（土）	69人	5月と同じスーパーマーケットで開催し、参加者の年齢層・人数は同様であった。整理券は待ち時間解消になった。保健師の出席を得た。
地区支部施設代表者会	県看護協会会長より報告・説明	施設代表者	平成27年 10月22日(木)	37人	
第2回研修会	テーマ 「患者をつなぐ看護～各施設の立場から～」 講義とワールドカフェ方式のグループワーク 講師：医大･琴の浦･訪問看護ステから各1名 座長：日赤1名	会　員・ 非会員	平成27年 10月24日(土)	53人	ワールドカフェを取り入れたのは初めてであったが、参加者からは好評であった。和歌山地区の看護がつながるように会員の顔と顔をつないでいくこの方式を続けていきたい。
地区支部施設代表者会（全地区支部）	テーマ：平成28年度診療報酬改定について	施設代表者	平成28年 3月12日（土） 13:30～16:00		
今後の課題	地区支部会員のニーズに応じた研修会を開催し、地域の保健・医療の連携につなげられるように活動をしていく。また、会員数を増やし、地域支部の活動を活性化し地域の人々の健康に貢献していく。				

海南・海草地区支部　支部長　清　水　多津子

活動目標

1．看護の資質向上に努める
2．地域住民の生活習慣病の予防・介護予防を促進する

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護の日事業	1日まちの保健室 身長・体重・血圧測定　体脂肪・骨密度測定 健康相談 看護の日アピール	地域住民	5月16日（土） 13:00～16:00	地域住民 91名 役員･協力員 13名	骨密度測定を臨床検査技師が実施したの待ち時間が少なくてスムーズだった
第1回地区支部研修会	テーマ 「最期までその人らしく生きることへの支援とは」 講師 北須磨訪問看護・リハビリセンター所長 藤田　愛 氏	会　員 非会員	6月27日（土） 13:00～15:00	会員 110名 非会員 10名 役員7名	・自分の看護を振り返る良い機会となった ・元気がもらえた ・これからの看護に必要な課題だと思った
27年度地区支部集会	平成26年度活動報告 平成27年度事業計画	会　員	6月27日（土） 15:00～15:30	会員 110名 役員7名	
老人看護月間行事	海南市民健康まつり 脳トレーニング体験 豆つかみ　　かなひろい	地域住民	10月18日(日) 10:00～15:00	地域住民 320名 役員･協力員 12名	・毎年楽しみにしている ・看護協会のアピールをもっとすればいい
第1回施設代表者会（地区別）	日本看護協会の動向 看護師の届出制度について	施設代表者	10月22日(木) 14:00～16:00	17名	
第2回施設代表者会（研修）	平成28年診療報酬改定について	会　員	平成28年 3月12日（土） 13:30～16:00		
第2回地区支部研修会（看護師職能Ⅱ研修との合同研修）	テーマ 「在宅等、病院の感染管理の実際」 講師 海南医療センター　感染看護認定看護師 西川　滋子 氏	会　員 非会員	平成28年 3月26日（土） 13:30～15:30	会員 49名 非会員 28名 役員 職能Ⅱ 4名 地区支部 5名	・介護職の参加も多く、感染防止の実際を体験できて勉強になった ・具体的でわかりやすかった

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
地区支部役員会	県看護協会理事会報告地区支部事業について	地区支部役　員	年４回		
今後の課題	1　研修を通して地域包括システムの構築と推進に努める 2　地域住民の協会に対する認知を広めるとともに会員数増加を目指し看護協会活動をアピールする				

有田地区支部　支部長　古川さゆ

活動目標

・看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への認知、理解を深める。
・広報活動等により新会員の増加に努める。

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
１日まちの保健室	血圧測定・体重測定 体脂肪測定・体年齢測定 保健指導・健康相談	地域住民	平成 27 年 5 月 16 日（土） 9:30 ～ 12:00	住民 70 名	参加を呼びかけると「毎日血圧測っている」という返答が多く、日頃の健康に対する関心の高さを実感しました。また、体年齢測定は、結果項目が多く普段知ることの出来ない測定結果を喜ばれました。
平成28年度 地区支部集会	平成 26 年度事業報告及び会計報告 平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案）	会　員	平成 27 年 6 月 27 日（土） 13:30 ～ 13:50	会員 63 名	
第１回研修会	「認知症を正しく理解できていますか？ ～認知症をもつ人を支えるために～」 日本赤十字社和歌山医療センター 認知症看護認定看護師　　米田　恭子 氏	会　員 非会員	平成 27 年 6 月 27 日（土） 13:30 ～ 13:50	会員 63 名 非会員 5 名	せん妄と認知症状の違いなどわかりやすく講演して頂き、最後に症例についてグループワークを行いました。講義を受けるだけでなく、いろいろな意見交換ができ良かった等の意見がありました。
老人看護月間行事	広川町健康祭りに参加	地域住民	平成 27 年 11 月 1 日（日） 9:00 ～ 14:00	住民 98 名	血圧測定・骨密度測定結果をもとに、健康相談・保健指導をおこないました。地域住民の健康に対する関心の深さを再確認しました。
第２回研修会 看護連盟と合同研修	わかやま楽落会による 「笑いの文化公演」	会　員 非会員	平成 28 年 2 月 20 日（土）	会員 38 名	笑って日頃のストレスを発散でき、元気をもらいました。
役　員　会		役　員	4 回 / 年 (7 月・9 月・ 12 月・2 月)		
施設代表者会	平成 27 年度日本看護協会の動向について 平成 27 年度和歌山県看護協会事業報告 届出制度「とどけるん」についての説明	施設代表者	平成 27 年 10 月 15 日(木) 15:00 ～ 16:30	施設代表者 9 名 役員 2 名	
今後の課題	1　魅力ある研修を企画し、会員・未会員へ参加を呼びかけ会員増につなげる 2　地域住民に看護協会活動を知って頂く機会を持つ				

日高地区支部　支部長　東　るみ子

活動目標

地域住民の健康をサポートし、地域と密着した活動を行う

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事 「一日まちの保健室」	・血圧測定・末梢血管循環測定 ・骨密度・体脂肪測定・健康相談	一般住民	平成 27 年 5 月 16 日（土） 10:00 ～ 14:00 オークワロマンシティ　御坊店	104 名	大型スーパーで開催したため、幅広い年齢層の参加が得られた。測定結果から、健康相談を希望する方が増加傾向である。
平成27年度 地区支部集会	平成 26 年度　活動報告 平成 27 年度　事業計画	会　員	平成 27 年 7 月 25 日（土） 13:00 ～ 13:30		
第１回研修会	講演「笑いとメンタルヘルス」 講師　西本　真司 氏 西本クリニック院長	会　員 非会員	平成 27 年 7 月 25 日（土） 13:30 ～ 15:00	48 名	笑いが人体に及ぼす影響から、日常で簡単にできる実践方法など、笑いに包まれての講義内容で、リフレッシュする機会になった。
老人看護月間行事	・問診・身長・血圧・体脂肪・体重・骨密度測定・ロコモ診断	一般住民 （御坊市健康福祉まつり）	平成 27 年 9 月 21 日（土） 10:00 ～ 13:00	124 名	健康に興味のある多数の参加者で、列ができるほど賑わった。健康相談を希望する方が多く、待ち時間が長くかかった。
第２回研修会	講演「がん看護と緩和ケア」 講師　　井上　明美 氏 がん性疼痛看護認定看護師 独立行政法人南和歌山医療センター	会　員 非会員	平成 28 年 2 月 6 日（土） 13:30 ～ 15:30	57 名	第１回研修会のアンケート結果から、テーマを選定した。事例を交えながらの講義内容で、理解しやすく、また感動的であった。

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
訪問看護ステーション 出前事業	講演「在宅等、病院の感染管理の実際」 講師　西川　滋子 氏 感染管理認定看護師 海南市立医療センター	訪問看護師 施設看護師 医療従事者	平成 27 年 11 月 28（土） 13:30 ～ 15:30	47 名	感染管理の基礎知識を習得することができた。また、手洗いチェッカーを使用してのデモンストレーションは好評であった。
施設代表者会議	和歌山県看護協会　古川会長より報告・説明	施設代表者 及び役員	平成 27 年 10 月 15（木）	12 名	
役員会	理事会・支部長会報告 地区支部運営に関する検討	役　員	７回	８名	
今後の課題	魅力ある研修会を企画し、日高地区支部の会員相互の連携強化を図り、看護の質の向上を目指すとともに会員増加に取り組む。				

田辺地区支部　　支部長　松元由美

活動目標

1．会員相互の連携をはかり、地域における看護の質の向上を目指す。
2．看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への理解を深める。

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護の日事業 一日町の保健室	看護の日の PR とともに、健康チェックを実施。血圧測定・体脂肪測定　健康相談等	役　員 地域住民	H27年5月16日(土) 9:00 ～ 12:00 JA 紀南フォーマーズマーケット　紀菜柑	88 名 役員 8 名	各施設から持ち寄った各種パンフレットを看護協会のファイルに入れて配布し、好評だった。
【未実施】 地区支部報告会 第１回研修会	平成 26 年度活動報告 平成 27 年度事業計画（案）	役　員 会　員	H27年7月18日(土) 南和歌山医療センター	応募者 89 名 役員 8 名	★台風による交通障害のため順延となった。平成 26 年度事業内容報告・27 年度事業計画については、会員に郵送し報告済みとした。
第１回研修会	「高齢者看護の基本」 講師：西山　みどり 氏 老人看護専門看護師	役　員 会　員 非会員	H27年10月10日(土) 13:30 ～ 16:00 紀南病院	73 名 役員 9 名	わかりやすく楽しい講義で日々の実践の振り返りができ、有意義な研修だった。
老人看護月間行事	血圧測定	地域住民	H27年11月15日(日) 白浜第一小学校	59 名 役員 2 名	小学校での地域交流会で、保健指導前の血圧測定を実施。
第２回研修会	「緩和ケア」～患者の生活を支える 座長：柏木雅美（緩和ケア師長） 講師：井上明美、栄土真由美、東一代、山﨑里花（認定看護師）	役　員 会　員 非会員	H27年12月19日(土) 13:00 ～ 15:30 南和歌山医療センター	80 名 役員 7 名	緩和ケア、がん性疼痛看護、がん化学療法認定看護師に各々の立場から講義してもらい、日々の看護を振り返る機会となった。
第３回研修会	田辺地区支部看護研究発表会 演題 8 題 講評：井上　潤 氏 急性・重症患者看護認定看護師	役　員 会　員 非会員	H28年3月12日(土) 13:30 ～ 15:30 紀南病院	68 名 役員 6 名	5 施設から 8 演題の発表があった。近隣施設がどのような活動をしているか知ることができ有意義な発表会だった。
施設代表者会議			H27年11月13日(金) 14:00 ～ 17:00 南和歌山医療センター		
その他 役員会	各行事の打ち合わせ 理事会報告等		H27年5月7日(木) H27年10月10日(土) H27年12月19日(土) H28年3月12日(土)	9 名 7 名 8 名 6 名	★メール、電話等による会議を随時行い、事業に支障を来さないようにした。
今後の課題	地域の看護職のニーズを把握し、研修への参加率向上を図る				

新宮・串本地区支部　　支部長　佃　瑞穂

活動目標

1．会員相互の連携を深め、情報交換を図り、看護の質の向上に繋げる

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	血圧・体脂肪測定 健康相談等	地域住民	5 月 16 日	181 名 協力員 12 名	多くの方が来てくださり、待っていただく程であった。機器の購入の検討も必要かと感じた。 測定結果を記録した用紙をお渡ししたことが好評であった。
第１回　研修会	講演「地域の医療・介護に必要なもの」 講師　和歌山県立医科大学 和歌山県地域医療支援センター 副センター長　島　幸宏 氏	会　員	8 月 8 日	31 名	地域医療支援のために奮闘されている先生の思いやその活動内容をお聞きし、今後の地域医療の方向などが理解できた。グループワークも有意義だった。
地区支部施設会員 代表者会議	日本看護協会・和歌山県看護協会の動向 看護職離職時の届出制度について	施設代表者	10 月 23 日	8 名	

事　業　名	事　業　内　容	対象者	開　催　日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
老人看護月間行事	血圧・体脂肪測定 骨密度測定、健康相談等	地域住民	11月1日	147名 協力員 10名	太地町の「太地浦くじら祭」の会場の一角をお借りして、血圧測定や体脂肪測定、骨密度測定を行った。測定結果を元にアドバイスも行った。
第２回研修会	講演　「がん化学療法における看護師の役割」 講師　新宮市立医療センター がん化学療法認定看護師 上地　弘美 氏	会　　員	3月5日	37名	がん化学療法についての基本的な知識だけでなく、がん化学療法を受ける患者に寄り添った看護のあり方など、深く考えさせられる内容であった。
地区支部役員会	各研修・各行事の打ち合わせ 各研修・各行事の振り返り 理事会報告	支部役員	6月26日 9月15日 10月20日 3月3日	6名	
今後の課題	会員数の増加。研修の充実。支部活動を通じて、会員相互の更なる連携を深める。				

平成28年度　和歌山県看護協会役員・推薦委員候補者一覧

役　職　名	氏　　名	所　　属	備　考
会長	古　川　紀　子	看護協会	推薦委員会推薦
副会長	塩　路　有　理	県立医科大学附属病院	推薦委員会推薦
常任理事	山　本　喜久子	看護協会	推薦委員会推薦
理事（看護師職能委員長Ⅱ）	中　野　美　枝	海南医療センター	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 伊都地区	西　山　登志子	橋本市民病院	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 那賀地区	大久保　まさ子	貴志川リハビリテーション病院	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 有田地区	西　原　　均	県立こころの医療センター	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 日高地区	空　山　直　子	独立行政法人国立病院機構 和歌山病院	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 田辺地区	山　根　八重子	医療法人先心会玉置病院	推薦委員会推薦
准看護師理事	玉　置　佳　代	社会医療法人黎明会北出病院	推薦委員会推薦
監事	温　　忍	自宅	推薦委員会推薦
推薦委員	山　本　昌　代	橋本保健所	推薦委員会推薦
推薦委員	辻　村　由　佳	御坊保健所	推薦委員会推薦
推薦委員	植　田　啓　子	新宮市立医療センター	推薦委員会推薦
推薦委員	神　戸　祥　子	公立那賀病院	推薦委員会推薦
推薦委員	和　平　幸　代	日本赤十字社和歌山医療センター	推薦委員会推薦
推薦委員	新　界　紀　子	済生会有田病院	推薦委員会推薦

平成 29 年度　代議員推薦者名簿（案）

	氏　名	職能・地区名	施　設　名
1	玉　置　倫　子	保健師職能理事	上富田町役場
2	塩　路　有　理	助産師職能理事	県立医科大学附属病院
3	玉　置　佳　代	准看護師理事	社会医療法人　黎明会 北出病院
4	河　原　　　歩	和歌山地区（看護師）	済生会和歌山病院
5	井　堰　哲　明	海南・海草地区（看護師）	野上厚生総合病院
6	苫　谷　さとみ	田辺地区（看護師）	医療法人　洗心会　玉置病院

平成 29 年度　予備代議員推薦者名簿（案）

	氏　名	職能・地区名	施　設　名
1	井　本　知　江	保健師職能理事	紀の川市役所
2	坂　本　裕美子	助産師職能理事	紀南病院
3	狩　谷　勇　人	准看護師理事	医療法人　裕紫会　中谷病院
4	松　尾　文　美	和歌山地区（看護師）	日本赤十字社和歌山医療センター
5	芦　谷　美　絵	海南・海草地区（看護師）	海南医療センター
6	藤　若　由紀子	田辺地区（看護師）	公益財団法人　白浜医療福祉 白浜はまゆう病院

東洋羽毛の　無料!!
コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っており ます。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？

片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。

東洋羽毛関西販売株式会

どんな所でも無料で出張サービスさせて頂きます

フリーコール 0120-88-2104　お気軽に御利用ください。